

地域情報通信基盤整備推進交付金事業における整備計画の事後評価

事業名	地域情報通信基盤整備推進交付金事業			
事業完了日	平成23年3月3日			
総事業費	657,300千円			
交付金額	206,516千円			
整備対象地域	関市洞戸、板取、武芸川、武儀の4地域			
事業の内容	<p>本市が平成21年1月に策定した「関市情報通信格差是正事業 基本計画」の調査結果から、関市洞戸、板取、武芸川、武儀の4地域にある1,367世帯が、ブロードバンド・ゼロ地域であると推測された。</p> <p>関市中心部、関市上之保には、既にCATVインターネットが普及しており、地域間における情報格差が拡大していた。</p> <p>このような現状を是正するため、対象地域において市がFTTH方式による光ファイバ網を整備し、既に関市中心部でサービスを開始しているシーシーエヌ株式会社へIRU契約により施設を貸し出し、対象地域でのインターネットサービスを開始した。また、利用料金についても地域間の状況を踏まえ、既にサービスが開始されている地域との格差が生じないよう運営事業者との協議を行い、公平且つ住民の要望に添った価格設定を図った。</p>			
サービス開始日	平成23年3月3日			
サービス形態	公設民営（IRU）			
契約先	シーシーエヌ株式会社			
	整備計画時の目標		実績	
	初年度	最終	H22年度末	H26年度末
整備地域の世帯数	4,938	4,938	4,935	4,943
加入世帯数	800	1,300	922	1,370
加入率（%）	16.2%	26.3%	18.7%	27.7%
評価及び課題	<p>整備から5年で1,370世帯（加入率27.7%）の加入があり、整備計画の当初目標は達成することができた。</p> <p>加入世帯数は継続的に増加しているが、解約世帯もあって微増にとどまっているため、運営事業者と連携して今後も引き続き加入促進を図るとともに、利用料金やプランの見直しを検討し、サービスの魅力を高めていく必要がある。</p>			